会派 みらい　政務調査報告

１岐阜県多治見市 令和6年11月6日

◉多治見市健全な財政運営に関する条例

多治見市　総務課長　福田康二 氏

２ 兵庫県川西市 令和6年11月14日

◉川西市財政健全化条例

◉中期財政運営プラン

川西市　　副市長　　松木茂弘氏

３　京都府京都市

◉　京都市中央卸売市場第二市場　　青果市場

◉　京都市中央卸売市場第一市場　　食肉市場

視察の目的　－１　財政健全化

◉視察に至る背景

「長期財政見通し」

ものさし 示される

◉財政の健全性

何を以て判断するのか 分かり

にくい ⇒ 将来を予測出来るか

◉法政大学土山教授の助言

計画的な財政運営の指針・制度

先進的な事例について学ぶ

視察の目的－２　京都市場見学

◉焼肉のまち飯田市 地域ブランド

他市との差別感がどこに有るか

店舗数だけでは

信州プレミアム 牛 ⇔ 南信州牛

京都での評価と流通は

◉南信州地域農産物

多くが京都市場に出荷

その実情は

視察の経緯

◉多治見市

＊財政危機に落ちいった経験＊

計画的な財政運営の指針や制度の必要性を認め

「多治見市健全な財政に関する条例」

◉条例制定の中心的な役割

多治見市 総務課 福田康二 氏

条例制定に至った経緯・内容は！

多治見市　福田康二氏

条例の概要

◉市民自治の健全な財政運営を目的

平成20年4月1日に施行

＜特徴的な事項＞

1 計画的な財政運営の考え方

(1) 財政判断指標・中期財政計画

(2) 財政向上目標・財政向上指針

(3) 財政健全基準・財政正常化計画

財政指標と中期財政計画

◉財政判断指標の設定

☆財政判断指標

財政状況を客観的に評価

◉中期財政計画の策定

☆計画的財政運営

4年間の中期財政計画

総合計画との整合性

財政判断指標/基金残高

視察　先進事例に・・・

視察の経緯　川西市

◉松木茂弘氏の経歴

兵庫県川西市の副市長 2020年4月～

（財政課長、総合政策部長）

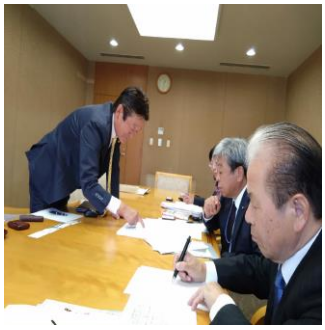
関西学院大学非常勤講師(財政社会学)

著書 『自治体予算編成の実務』

『自治体生存戦略』など

- 自治体経営における政策形成
- 行政改革の実践

川西市　松木副市長



研修の内容　特徴的な取り組みから１

(1) 中期財政運営プランの策定

「中期財政運営プラン」

- 中長期的な財政収支の見通し
- 財政運営の目標設定
- 総合計画と連動
- 5年間の支出と収入を推計

持続性確保に向けた行財政改革の効果や財源対策を示す

研修の内容　特徴的な取り組みから２

(2) 財政事情の定期的な公表

市民への透明性を確保

毎年６・12月に財政状況を公表
市民が市の財政状況を把握できるよう努めている

(3)財政指標の分析と改善

経常収支比率、実質公債費比率
将来負担比率　⇒　詳細分析

研修の内容　特徴的な取り組みから3

◉川西市財政健全化条例の概要

(1)計画的な財政運営

中長期財政収支の見通しと目標設定

- 財政運営計画作成
- 総合計画、各施策分野計画と整合性

①事業の検証

：事業検証⇒目的・効果・費用等

②規律ある財政運営

：財政基金、減債基金の積立て繰入
その理由を明確にする

③使用料等の見直し

:受益と負担の随時検証

使用料、手数料、負担金、市税減免

④透明な財政運営と情報公開

：財政運営計画や財務書類等を
市民に分かりやすく提供説明

⑤健全な財政運営の確保

：健全基準値を設定し決算で検証

飯田市との比較　1

(1)総合計画と財政見通し

飯田市

：10年間の財政見通し作成

総合計画と整合は行っていない

多治見市

：財政運営に関する条例制定

中期財政計画を総合計画と整合

川西市

：総合計画と整合、5年間の財政収支見通しと財政運営の目標を策定

飯田市との比較　2

(1)計画的な財政運営の考え方

☆飯田市　財政運営目標

：長期見通しを健全性の物差し

市債の総額と基金残額を設定

☆多治見市　財政状況の客観的評価

：中期財政計画と財政判断指標を設定

☆川西市　財政判断指標

：基準値を設定し財政状況を検証

財政の健全化視察研修　考察

- 多治見・川西は、総合計画と中期財政計画の 整合、財政指標の分析と対応が示されている

  飯田市も健全財政に努めているが、財政健全化の対応指針は無い

☆厳しさを増す自治体財政を考える上で両市の取り組みは参考になる、その上で、市民に分かりやすい情報提供にも取り組むべきでは

川西市 研修を終えて

京都第1・第2市場見学

市場視察

☆令和5年3月に産業経済部と私

☆令和6年4月に市長と産業経済部

ＪＡみなみ信州組合長が視察訪問

☆飯田市山本の土屋畜産の紹介

土屋畜産は牛の大規模肥育農場

産地の行政関係者が市場を訪問

市場での産地の価値を上げる

訪問は大切な支援になるとの事

視察の内容とまとめ

(1)京都食肉市場株式会社

宮田社長、坂井副社長、中村営業部長、

フレーバー 前川部長 (仲買人)

◉屠畜の工程を見学　概要説明

信州プレミアム牛として評価が高い

京都に於いてブランドとして定着

◉ブランド名称　信州プレミアム牛

長野県推奨 ⇒ 南信州牛では無い

飯田市のブランド戦略は

ハサップ　屠畜工程

京都ブランド　信州プレミアム牛

品質管理　鑑定人

枝肉とセリ会場

ブランド名　信州プレミアム牛

考察

屠畜工程 ハサップの厳しい基準

☆ハサップ対象品の衛生管理

加工処理・流通事業者・生産者も該当

京都市場に牛を出荷もブランド

長野県は松本・中野に屠畜施設

松本の長野県食肉公社移転を検討

☆仲卸販売事業者

近年の健康志向　サシ～赤身の志向

牛の肥育方法にも影響を与える

生産者にとって大変な市場変化

視察先の概要 2

京都第1市場青果農産品
案内者　JA全農京都　村上係長

約300品目の青果物と約200種類の魚介類を取り扱う

施設整備は老朽化 再整備進行中
①新水産棟エリアが供用開始
②新青果棟の建設中

京都　第1市場　場内

JA全農京都　園芸課 村上氏

視察の内容とまとめ

市田柿は市場で大変需要が高い
果樹・野 菜も南信州産には関心
特にその地区ならではの農産物に興味

①京都市場でブランド認定される重要さ
②市場関係者と人間関係構築もその一歩
③今後の飯田市とJA関係者に交流を期待

生産者と生産地が流通の入り口
市場に人的ネットワークを持つ
農産物の価値を高めていくこと
に繋がる

京野菜

ありがとうございました

政務調査活動報告資料　会派みらい　原